



岐阜大学教育学部附属小学校 第103回教科研究協議会



「教科の本質に迫る主体的・協働的な学びとは」
をテーマに、各教科においてその具体を県内外の先生方と
語り合い、考えます。皆様の参加をお待ちしております。

開催教科

国語・社会・算数・理科・教育心理・特別支援

2017年1月28日（土）9:00～15:40

後援 岐阜県教育委員会 岐阜県小中学校教育研究会

主催 岐阜大学教育学部附属小学校

www.fuzoku.gifu-u.ac.jp/sho/

教科の本質に迫る 主体的・協働的な学びとは

国語



児童が自分の考えをもち、仲間との学びを通して、正確に理解する力や適切に表現する力を育成することを目指したい。そこで、提案授業では、学びに必然性を感じる単元指導計画の工夫や主体的・対話的に学ぶための単位時間の工夫、学びの変容に気付く振り返りを大切にしたい授業を行う。

午後からは、東京学芸大学の細川太輔先生をお招きし、講演やワークショップを行う。学習環境デザインの在り方について学び、今後の実践に生かしていきたい。

I部：提案授業

3年「斉藤さんの世界を楽しもう～モチモチの木～」

II部①：実践提案

「言語能力を高める児童の育成」

岐阜大学教育学部附属小学校 高井 星来 教諭

II部②：実践提案

「児童の主体的な学びを引き出す

効果的な言語活動を設定した授業」

関市立金竜小学校

田中 啓太 教諭

III部：講演・ワークショップ

「主体的・対話的で深い学びを生み出す

学習環境デザイン」

東京学芸大学

准教授 細川 太輔 先生

社会



学習指導要領の改訂を控え、小学校社会科においても、価値判断や意思決定、合意形成を意識した授業が注目されている。

本協議会では、文部科学省視学官の澤井陽介先生、お茶の水女子大学附属小学校の岡田泰孝先生をお招きし、小学校社会科が今後、どのような資質・能力を育成していくべきかについて、価値判断を核とした提案授業及び実践提案、講演、パネルディスカッションを通して明らかにしたい。

I部：提案授業

4年「あなたは捨てられますか」

II部①：実践提案

「価値判断を通して社会生活を理解する児童の育成」

岐阜大学教育学部附属小学校 浅野 光俊 教諭

II部②：実践提案

「市民性を育成する小学校社会科授業」

お茶の水女子大学附属小学校 岡田 泰孝 教諭

III部：シンポジウム

基調講演「新学習指導要領が目指す小学校社会科授業」

文部科学省初等中等教育局視学官

澤井 陽介 先生

パネルディスカッション

「初等社会科で育成すべき判断力とは」

算数



主体的・対話的で深い学びの実現には、どんな「学習課題や問い」「算数的活動」を設定するのが重要と考える。提案授業を通して、子どもの姿から議論したい。午前の実践提案では、横浜国立大学教育人間科学部附属鎌倉小学校の押見亨先生の提案をもとに討議する。

午後は、前筑波大学附属小学校副校長、明星大学客員教授の細水保宏先生と共に、算数の授業づくりについて参観者全員で考えたい。

I部：提案授業

3年「□を使った式」

II部①：実践提案

「式の理解を広げる指導の工夫」

岐阜大学教育学部附属小学校

富倉 亮 教諭

II部②：実践提案

「問いがにつながる算数学習」

横浜国立大学教育人間科学部附属鎌倉小学校

押見 亨 教諭

III部：講演・ワークショップ

「主体的・対話的で深い学びに向かう算数的活動（仮）」

明星大学客員教授、明星学苑教育支援室長

細水 保宏 先生

各教科部内容

理科



児童が既にもっている自然事象に対する素朴な概念を科学的な追究によって科学的な概念に変容させるための主体的・協働的な学びの在り方について提案する。内容の系統を踏まえ、問題解決能力をより引き出し、事実を基に仲間と考えを吟味する必然のある状況づくりが主な主張である。提案授業では、質量保存の法則の礎となる概念について仲間とともに吟味しながら獲得していく過程を参観していただきたい。

また、早稲田大学の露木和男先生にご講演いただき、その内容をもとに、ある授業の場面においてどのような指導を大切にするとよいのかを参加者全員で考えたい。

I 部：提案授業

3年「物の重さをくらべよう」

II 部①：実践提案

「自然事象に対する概念を修正・強化する

児童の育成～主体的・協働的な学びを通して～」

岐阜大学教育学部附属小学校 藤原 玄宜 教諭

II 部②：実践提案

「自分の考えをもち主体的に表現する子の育成

～第6学年「水溶液の性質とはたらき」の学習を通して～」

加茂郡七宗町立神淵小学校 上原 純 教諭

III 部：講演・ワークショップ

「理科の授業で大切にしたい子どもの心」

早稲田大学教育学部

教授 露木 和男 先生

教育心理



教育心理部では、望ましい人間関係を追求できる児童の育成を目指している。今回は、ある場面を「自分だったらどう捉えて、どう解決していくか」と自分に置き換えて考えることと、日常生活の自分を見つめ、考えや行動の変容のきっかけをつくる授業を提案する。

午後からは、ユニバーサルデザインの授業づくりの実践を通して、一人一人を大切にした教育の具現とはどのようなものかを考えていきたい。

I 部：提案授業

4年「自分を知ろう なかまを知ろう」

II 部①：実践提案

「自己変容のきっかけをつくる授業」

岐阜大学教育学部附属小学校 小笠原 淳 教諭

II 部②：実践提案

「生徒が居場所感や仲間との絆を感じられる

学級づくり」

恵那市立恵那西中学校

宮崎 仁志 教諭

特別支援



私たちは、児童生徒に、思いや願いをもって精一杯活動し、それを具現した喜びや活動できた喜びを感じ、新たな思いや願いの具現に向かって歩いて欲しいと願っている。

午後の提案発表では、小学生、中学生、高校生との実践を通して、児童生徒が豊かに自身の人生を歩んでいくことができるよう、私たちが支援をする上で大切にすべきことを考える機会とする。

I 部：提案授業

養護 1 組(低学年)生活単元学習「みんなで あそぼう」

II 部①：実践提案

「豊かな生活を創り出す児童の育成」

岐阜大学教育学部附属小学校 浅賀 崇史 教諭

II 部②：実践提案

「子どもの主体的な『自立と社会参加』を促すための授業づくり」

三重大学教育学部附属特別支援学校

今村 真也 教諭・増井 哲 教諭

III 部：(特別支援教育部・教育心理部合同開催) 実践提案

「一人一人を大切にした教育を考える上で確かめたいこと」

提案①「すべての児童が分かる喜びや学ぶ意義を実感できる授業を目指して～ユニバーサルデザインの授業づくりを通して～」

美濃市立美濃小学校 古田 信宏 校長

提案②「ふじのめ学級で大切にしていること ～作業学習の実践を中心として～」

北海道教育大学附属札幌中学校 山口 翔 教諭

提案③「高等部卒業時における進路選択と実際」

岐阜県立岐阜盲学校 山下 聡子 教諭

【当日の日程】

【弁当について】 弁当を希望される場合は、当日受付で弁当引換券をお渡しします。（お茶付きで1,000円です。）弁当の購入を希望される場合は、丸をつけていただきますようお願いいたします。